

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「領事便り」
- 4 「広報・文化便り」
- 5 「日本関連行事等のお知らせ」
- 6 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

今月は、初頭にプリンスエドワードアイランド（PEI）州を公式訪問し、ペリー副総督やマクローラン州首相等のPEI政府の要人の方々にお会いした他、現地で活躍されている日本人の方々にもお会いしました。「赤毛のアン」の縁等で、多くの日本人がPEIと繋がりをもたれて、PEIと日本との関係に尽力されていることを知り、感銘を受けました。「赤毛のアン」の舞台となったグリーンゲイブルズの写真を撮り、日本の友人達に送ったところ、直ちに、多くの女性達から返事が来ました。日本人女性の間でのアンの人気はすごいですね。次回は緑のPEIを訪問したいと思います。

今は卒業式、そして来月には入学式があります。先日、日本語センターの卒業式に出席させて頂きました。日本語センターは、先生方や委員の方々、そして保護者の方々の文字通り献身的な協力によって運営されていますが、生徒達の楽しそうなパフォーマンスや卒業式を見て、このセンターが子供達にとって貴重な存在であることを改めて実感しました。そして、今週末は補習校の卒業式です。子供達にとって、補習校やセンターでの学習、経験、そして育んだ友情は、将来にわたって貴重な財産となるでしょう。

最後に、来週、井上満男元補習校校長先生に対する叙勲伝達式が行われます。この叙勲は、教育者、井上先生個人としての長年にわたるご貢献に加えて、補習校自体の果たしてきた役割も高く評価されたものとして、大変欣快に思います。井上先生、おめでとうございます。

2 総領事館からのお知らせ

○ 2019年3月、4月の休館日のお知らせ

- 3月21日（木） 春分の日
- 4月19日（金） Good Friday
- 4月22日（月） Easter Monday

3 領事便り

（1）在外選挙人名簿登録のご案内

在外選挙では、国政選挙（衆議院議員選挙及び参議院議員選挙、これらに係わる補欠選挙及

び再選挙)に投票することができます。外国に住んでいても、皆様の一票が国政にいかされます。

海外で投票するためには、あらかじめ「在外選挙人名簿」への登録申請を行い、事前に在外選挙人証を取得しておく必要があります。

在外選挙人名簿の登録は、満18歳以上の日本国民で、海外に3か月以上継続して居住している方(市区町村役場に転出届を出している方)であれば申請可能です。

在外選挙人名簿登録申請には、市区町村選挙管理委員会における登録資格調査等の手続きのため、申請から在外選挙人証の交付まで通常で約2~3か月を要します。

今年夏には、第25回参議院議員通常選挙の実施が予定されていますので、ぜひこの機会に在外選挙人名簿の登録申請を行ってください。登録申請の手続きは当館で受け付けています。詳しくは外務省ホームページ御覧ください。

在外選挙制度のご案内 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/index.html>

在外選挙人名簿の登録についてのご照会は、当館領事班までお問合せください。(電話: 514-866-3429(代), E-mail: consul@mt.mofa.go.jp)

(2) 領事手数料のお知らせ

平成31年度の領事手数料が決定され、以下のとおり前年度と同様の料金となりましたのでお知らせいたします。

平成31年度領事手数料

○旅券(パスポート)

- ・10年有効の旅券(20歳以上) 186ドル
- ・5年有効の旅券(12歳以上) 128ドル
- ・5年有効の旅券(12歳未満) 70ドル
- ・記載事項の変更 70ドル
- ・帰国のための渡航書 29ドル

○証明

- ・在留証明 14ドル
- ・署名証明 52ドル(官公署関係)又は20ドル(その他)
- ・出生・婚姻・死亡等身分事項証明 14ドル
- ・自動車運転免許証抜粋証明 24ドル
- ・翻訳証明 51ドル

○日本入国査証(ビザ)

- ・一般入国査証 35ドル
- ・数次入国査証 70ドル
- ・通過査証 8ドル

(注)日本とカナダは査証手数料についての相互取極を締結しているため、カナダ国籍の方に対する査証発給手数料は無料です。

(留意事項)お支払いは、現金でお釣りのないようお願いします。なお、クレジットカード、デビットカード(Interac)によるお支払いはできませんのでご了承願います。

4 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（１）日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の公使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの公使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

（２）日加修好90周年事業

ア ケベック大学モントリオール校（UQAM）「ジャパンデー2019」

「平成を振り返る」をテーマに講演会を開催します。講演者に、吉田徹北海道大学教授、ジャン＝マリ・ブイスー・パリ政治学院研究ディレクター、バルテレミー・クルモン・ラウル・ダンデュラン戦略外交研究所（UQAM）リサーチャー兼リールカトリック大学講師兼国際関係研究所（IRIS（仏））研究ディレクターらを迎えるほか、元ケベック州政府在日事務所代表らによるパネルディスカッション等を行います。

日時：3月29日（金）9時～20時

場所：Le centre Pierre-Peladeau - Le Salon Orange

300 Boul de Maisonneuve E, Montreal, QC H2X 3X6

5 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

（１）日加修好90周年記念事業

ア ラヴァル大学でのイベント（ケベック市）

(ア) 日仏語ランゲージエクステンジ

日時：(隔週月曜日) 2月4日, 18日, 3月4日, 18日, 4月1日, 15日, 29日,
5月13日, 27日, 6月10日

(仏語) 19時~19時45分 (日本語) 19時45分~20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

参加無料

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-immersion-francaise-japonaise>

(イ) 「四国お遍路を終えて」

昨年四国お遍路1200キロを歩き, 88寺を訪ねた Dr. Alexandre Jouan が, その旅路と日本について語ります。

日時：3月31日(日) 13時~15時

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

参加無料(20名まで)

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-pelerinage-shikoku>

(ウ) ワークショップ：ジャバラ式とひも綴じ式和式ノートを作ろう

日時：4月7日(日) 13時~16時半

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

要事前登録(20名まで)

参加費：一般50ドル, 大学関係者46ドル(税・材料費込み)

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-atelier-de-relecture#contenu>

(エ) 端午の節句

鎧兜等，端午の節句にちなんだ折り紙作りを行います。

日時：5月5日（日）13時～15時

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-fete-japonaise-des-enfants#contenu>

(オ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺本小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時：9月29日（日）～12月15日（日）

場所：ラヴァル大学図書館4階

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4

イ 展示会「Nous sommes tous différents et nous sommes tous beaux（みんなちがってみんないい）」

金子みすずの絵本「みんなちがってみんないい」のフランス語版出版記念イベントとして、原画の展示会、挿絵を担当した絵本作家の是澤理恵子氏とその翻訳者ヴァレリー・アルヴェ氏による講演会、ワークショップが開催されます。レヴィ市の文化事業の一環です。

原画展示会期間：3月5日（火）～4月6日（土）

出版記念イベント：3月20日（水）17時，講演会：19時

場所：Bibliothèque Jean-Gosselin

3316, avenue des Églises, Lévis

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.ville.levis.qc.ca/culture/bibliotheques/animations-activites/detail/evnement/699/>

ウ Festival International du Film sur l' Art (FIFA)

「Fukushima Time/Lapse」「Tabi-imo: Tabaimo 2011-2017」「Creations From the Obscure」などの日本映画が上映されます。

映画祭期間：3月19日（火）～31日（日）

詳細はこちらからご確認ください。 <https://www.artfifa.com/en>

エ 展示会「Un hommage au New Yorker」

雑誌「The New Yorker」のオマージュで、「The Tokyoiter」「The Parisianer」

「Le Montrealer」のイラストレーションの展示が行われます。

期間：3月29日（金）～6月9日（日）

ベルニサージュ：3月28日（木）17時～19時

場所：Maison de la culture Notre-Dame-de-Grace de Montreal
3755, rue Botrel, Montreal

無料

詳細はこちらからご確認ください。

http://www.accesculture.com/activite/UN_HOMMAGE_AU_NEW_YORKER

（2）その他のイベント

ア 裏千家淡交会茶道教室（ケベック市）

（冬のコース）1月12日～3月23日 毎週土曜日計10回

（春のコース）4月6日～6月8日 毎週土曜日計10回

10時～12時半（初級レベル1と中級）13時～16時（初級レベル2）

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliotheque de l'Universite Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-cours-ceremonie>

[ie](#)

イ 鼓童ワン・アース・ツアー2019「Evolution」

太鼓芸能集団「鼓童（<https://www.kodo.or.jp/>）」が2019年1月～3月にアメリカ、カナダツアーを行います。3月23日にはモントリオール公演が行われます。

上演作品：「Evolution」（演出：坂東玉三郎）

日時：3月23日（土）20時

場所：Salle Wilfrid-Pelletier, Place des Arts

詳細はこちらからご確認ください。

https://www.kodo.or.jp/performance/performance_kodo/10025

<https://placedesarts.com/en/event/kodo>

6 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

（1）政治

ア ケベック（QC）州

・2月3日、ジロー州国際関係・仏語圏大臣は、ケベック州政府在外事務所代表は政治的所属関係によらず、能力によって任命するよう制度改革に取り組む旨発言。

・2月5日、ルゴー州首相は、複数の大臣職務を兼任するルベル（Ms. Sonia LeBel）法務大臣兼カナダ国内関係・カナダ仏語圏担当大臣から、女性の地位担当大臣としての職務をシャレ（Ms.

Isabelle Charest) 教育副大臣に移行することを決定。

- ・ 2月7日, 州政府は, 州が2018年8月2日までに技能労働者枠で受理し未処理となっている1万8千件の移民申請を全て取り消すと発表。
- ・ 2月13日, 州政府及び連邦政府の両者は, フランス語圏国際競技大会シェルブルック開催費用の補助金提供に同意。開催概算費は運営に7,400万加ドル, 警備費に1,000万加ドルとなる見込み。
- ・ 2月14日, ケベック大学技術開発校 (Ecole de technologie superieure : ETS) にオリンパス超音波非破壊検査研究所が開設。
- ・ 2月15日, ルゴ州首相はブランシェ (Mr. Yves-François Blanchet) ブロック・ケベコワ党 (BQ) 党首と会談し, 引き続きケベック州の声を連邦議会に届けていくため協力していくことに同意。
- ・ 2月16日, 2018年1月29日から施行された銃所持者登録制度に反対するデモがモンリオール市内で実施。州公安省によれば登録を済ませている所有者は全体の4分の1程度に留まっている。
- ・ 2月18日, ロベルジュ (Mr. Jean-François Roberge) 州教育大臣は, 州内の幼稚園4歳児クラスを今秋から250クラス増設し, 計644クラスとする旨, 発表。
- ・ 2月25日, ケベック州ウートルモン選挙区での補欠選挙は, 自由党から出馬したベンダヤン (Ms. Rachel Bendayan) 氏が40.4%の得票で当選。
- ・ 2月26日, ルゴ政権から初となる州予算は3月21日に発表予定。
- ・ 2月27日, 州政府は, モントリオールから東に30kmの所に位置するシャンブリー市を州の監督下に置くことを決定。同市には, ほぼ同時に州汚職対策増設ユニット (UPAC) の捜索も入った。

イ 大西洋州一般

- ・ 2月7日, 連邦政府は, タイセイヨウセミクジラ保護のため, 沿海州で漁船の立ち入り禁止や船舶の減速を命じた昨年の規制を緩和することを発表。
- ・ 2月9日, 連邦控訴裁判所は, 大西洋州とケベック州の漁師が所有する沿岸漁業免許を企業が利用する問題について, 連邦政府には沿岸漁業免許の企業買収を阻止する権利があると認めた連邦裁判所の2017年の判決を支持。

ウ ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・ 2月12日, ジェリー・ロジャースNDP党首が辞任とともに政界引退を発表。

エ プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

- ・ 2月9日, 進歩保守党党首選の結果, デニス・キング氏が選出。

オ ノバスコシア (NS) 州

- ・ 2月17日からコルウェル州漁業・水産大臣率いる経済ミッションがアジア歴訪。NS水産企業とともに日本, シンガポールを訪問。

カ ニューブランズウィック（NB）州

- ・ 2月1日、元連邦下院議会守衛官で、現在、在アイルランド大使のケヴィン・ヴィッカーズ氏が6月の州自由党党首選に出馬するため、3月に大使職を辞任すると発表。ヴィッカーズ氏は、2014年カナダ連邦議会銃乱射事件で、守衛官として容疑者を阻止した人物。
- ・ 2月5日、オタワでヒッグス州首相がトルドー連邦首相と会談。ヒッグス州首相が望む、炭素税課税実施延期や緩和については進展なし。
- ・ 2月12日、党首を辞任したブライアン・ギャラン前州首相に代わり、ドゥニ・ランドリー氏が自由党党首代理に就任。
- ・ 2月13日、連邦政府による炭素税課税の合憲性を問い、サスカチュワン州が連邦政府に対して起こした訴訟が開始。NB州も参加する。
- ・ 2月16日、ヒッグス州首相が、シアー連邦保守党党首、モー・サスカチュワン州首相と共に、サスカチュワン州で開催されたパイプライン建設賛成派の集会に参加。
- ・ 2月21日、州政府は、州内の学校で実施中のNB孔子学院のプログラムを中止すると発表。孔子学院は2008年にNB州に進出し、現在28の英語系の学校で中国文化の発信や中国語教育を行っている。
- ・ 2月25日、マッケンジーNDP党首が辞任を発表。同党は2003年以来州議会に議席がない。

（2）各州世論調査結果

ア 州議会選挙（政党支持率）

- ・ QC州（Leger Marketing 社調べ、1月25～28日）：ケベック未来連合42%、ケベック自由党22%、ケベック党18%、ケベック連帯党15%、その他4%
- ・ NL州（MQOリサーチ社調べ（以下同じ）、1月16～28日）：自由党44%、進歩保守党（PC）42%、新民主党（NDP）12%、その他2%
- ・ PEI州（1月21～27日）：緑の党34%、自由党33%、PC28%、NDP2%
- ・ NS州（1月30日～2月10日）：自由党41%、PC33%、NDP19%、緑の党7%、その他0%
- ・ NB州（1月30日～2月10日）：PC46%、自由党32%、緑の党11%、ピープルズ・アライアンス8%、NDP3%

イ 連邦議会選挙（政党支持率）

- ・ QC州（Leger Marketing 社調べ、1月25～28日）：自由党39%、保守党21%、ブロック・ケベコワ21%、新民主党（NDP）8%、人民党（PPC）6%、緑の党5%
- ・ QC州（Leger Marketing 社調べ、2月15～19日）：自由党35%、保守党24%、ブロック・ケベコワ20%、NDP6%、緑の党8%、PPC、5%
- ・ NL州（MQOリサーチ社調べ（以下同じ）、1月16～28日）：自由党56%、保守党35%、NDP%、緑の党1%、PPC1%、その他1%
- ・ PEI州（1月21～27日）：自由党52%、保守党30%、緑の党10%、NDP7%

・NS州（1月30日～2月10日）：自由党50％、保守党30％、NDP12％、緑の党7％、PPC1％、その他1％

・NB州（1月30日～2月10日）：自由党44％、保守党39％、緑の党10％、NDP4％、PPC3％、その他0％

（3）経済

ア QC州

・2月5日、トルドー連邦首相は、ケベック州政府管理による連邦税と州税の納税窓口一本化の提案を拒否。

・2月6日、カナダのコラス・アヴィエーション社は、ボンバルディアCRJ900型9機の確定購入契約を締結。

・2月6日、ボンバルディア社は新たなモデルとなる商用機CRJ550型機を発売。同機体は3クラスで50席を有する。

・2月11日、モンリオール市サン・ローラン区に本社を置く経口薬開発会社インテルジェンクス・テクノロジーズは、偏頭痛の処方として開発されたRizaportの経口フィルム薬に対し日本での特許を取得。

・2月13日、ルロー(Mr. Chantal Rouleau)州モンリオール地域担当大臣は、モンリオール市内の野球場の建設を前向きに検討する余地はある旨、発言。

・2月13日、ソフトバンクが出資契約提携を結んでいるネマスカ・リチウム社のリチウム鉱山開発は、当初の予算1億3,000万加ドルを大幅に超過し事業継続には3億7,500万加ドルの追加予算を要する見込みとなる。

・2月19日、本年4月からライヴェント・コーポレーション社へ年間8千トンの炭酸リチウム供給契約を交わしていたネマスカ・リチウム社は、契約は実質、履行不可能と判断し契約金1,000万米ドルと契約停止料を支払うことをライヴェントに提案。

・2月20日、ケベック電力公社（イドロ・ケベック）が2018年分として州政府に支払う配当は、過去最高の24億加ドルとなる。収益は143億加ドル。

・2月21日、ケベック預金・投資金庫の運用益は2018年に4.2％となり、資産は110億加ドル増の3,095億加ドルを記録。

・2月22日、ジラルド(Mr. Eric Girard)州財務大臣は、現時点で州内の不動産を購入する外国人に対する不動産取得税を課す予定は無いが、購入者の国籍またはカナダ永住者資格有無の明記義務化を進める方針を表明。

・2月22日、州内乳製品大手サプート社は英国のデイリー・クレスト・グループ社を17億加ドルで買収。

・2月27日、カンファレンス・ボード・オブ・カナダは、本年のケベック州経済成長率は1.8％となると予測。

イ NL州

・2月8日、ハスキー・エナジーは、ニューファンドランド島沖のホワイトローズ油田で使用予定のアルジェンシア造船所（ニューファンドランド島東部）で建設中のコンクリート重力構造物

の完成が遅れており、2021年に予定されていた同油田への運搬時期を1年延期する旨発表。

- ・2月12日、ニューファンドランド島の造船所セント・ジョンズ・ドックヤードが、カナダ沿岸警備隊の老朽化した船舶「ハドソン」の延命工事を行う、1,000万加ドルの契約を受注。

- ・2月15日、州政府は、4月1日より最低賃金を現在の時給11.15加ドルから11.40加ドルに引き上げる旨発表。

ウ PEI州

- ・2月12日、食品加工機械製造のシャーロットタウン・メタル・プロダクツ（CMP）が、ブリティッシュコロンビア州のフード・プロセッシング・ソリューションズ（FPS）に買収される。

- ・2月20日、州政府は、州内業界最大手の金融サービス企業インヴェスコに対し、200人の新規従業員雇用支援のため、300万加ドルを支出。

- ・2月20日、シャーロットタウン空港は、今年の夏季にウエストジェットがトロント行きを、エアカナダがオタワ行きをそれぞれ増便することを発表。

- ・2月27日、セキスイダイアグノスティックスが新たな施設拡張を発表。PEI州政府はリースの形で最大130万加ドルを支出する。拡張により15~20人の雇用が創出され、総従業員数は130を超える。

エ NS州

- ・2月9日、広告収入減を理由に、カナダの通信社カナディアンプレスが人員削減実施。ハリファックスでは4人の従業員を解雇。

- ・2月19日、フェリー会社ベイ・フェリーズ（NS企業）は、州南東のヤーマスから米メイン州バーハーバー町のターミナルを5年間使用する130万加ドルのリース契約を締結。

- ・2月23日、連邦政府は、2020年1月に閉鎖が決まっている製紙企業ノーザンパルプのポートハーバー（州北岸）の排水処理場の環境アセスメントを実施することを決定。

- ・2月25日、ハーグの常設仲裁裁判所は、州内の採石場建設許可が下りなかったのは北米自由貿易協定に違反するとして、2008年に米コンクリート企業ビルコンがカナダ政府を相手取り、4億4,300万ドルを請求していた件で、カナダ政府に請求額より大幅に少ない700万ドルを支払うことを命じた。

オ NB州

- ・2月8日、水産大手のクック・アクアカルチャー（NB企業）は、エクアドルのエビ養殖企業シージョイ・シーフードを買収。買収額は明らかにされていない。

- ・2月19日、エネルギーインフラ大手のトランスカナダは、カナダ西部の天然ガスを、既存のパイプラインで大西洋州に運搬する許可を連邦政府に申請。州のガス小売り大手エンブリッジ・ガス・ニューブランズウィックとアーヴィング・オイルは、この申請を支持。

- ・2月28日、水産大手のクック・アクアカルチャーは、州南部ベイサイドに3,000万加ドルをかけてサケ養殖場を建設する計画を発表。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（ www.kantei.go.jp ）

外務省ホームページ（ www.mofa.go.jp/mofaj/ ）

在カナダ大使館ホームページ（ www.ca.emb-japan.go.jp ）

当館ホームページ

（ https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html ）

当館 Facebook（ www.facebook.com/JapanConsMontreal ）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（ emagazine@mt.mofa.go.jp ）まで御相談ください。
